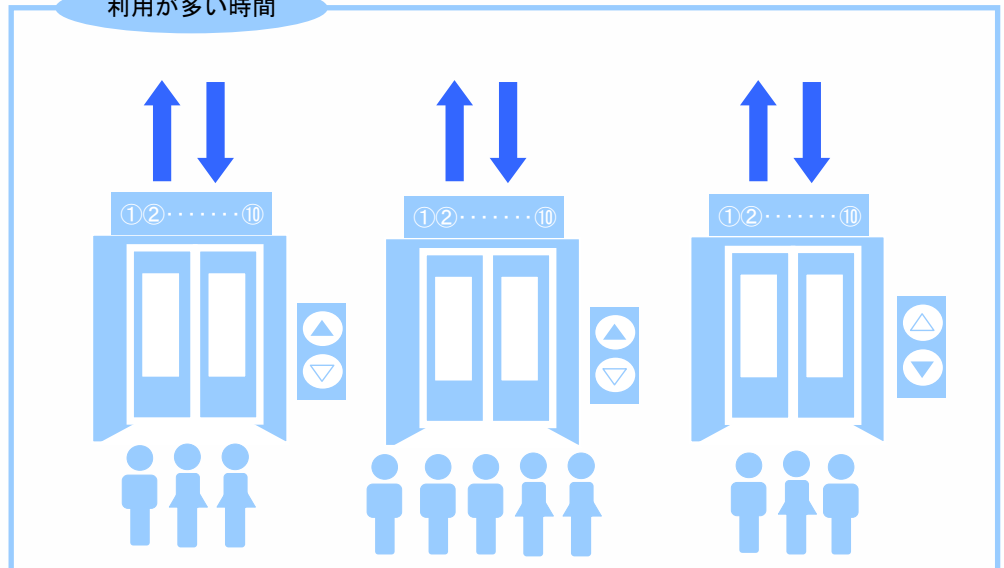


利用人数が少ない時間帯は、運転台数を減らしましょう。

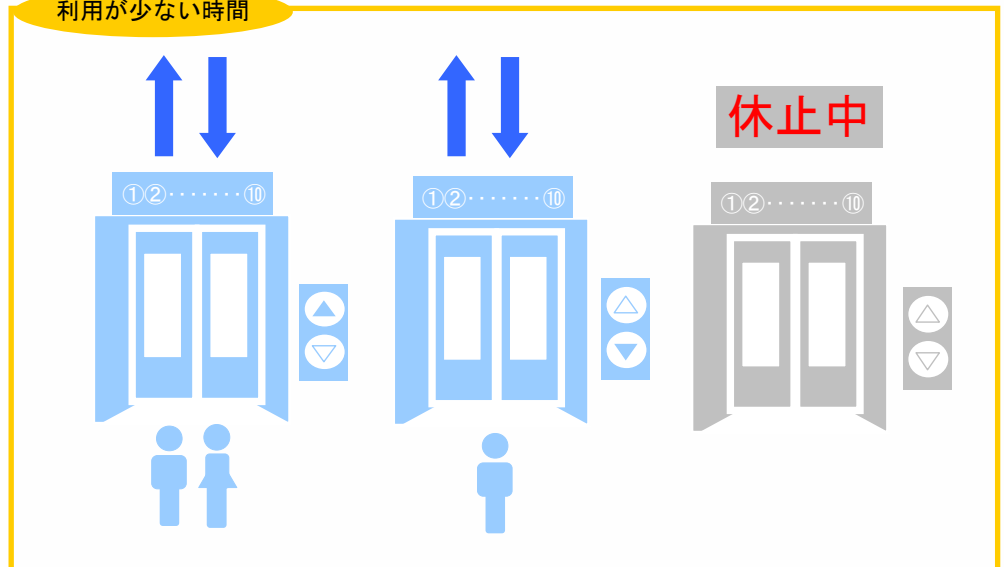
エレベータは、営業時間帯など常時運転していますが、利用人数が少ない時間帯に運転台数を減らすことでエレベータの消費電力の削減を図ります。

対策例

利用が多い時間



利用が少ない時間



省エネ対策のポイント

- ・利用人数が少ない時間帯に運転台数を減らすことで、待機電力の削減になります。
- ・1日の利用頻度を把握し、運転台数の制限できる時間帯の有無について検討しましょう。
- ・総合スーパーや複合施設などで時差営業をおこなう場合は、非営業フロアへの停止を制限します。
- ・不特定多数が出入りする事務所ビルなどでは、貼り紙などを活用し、周知するようにしましょう。
- ・エレベーターの運転停止については稼働状況により効果が異なりますので、運転管理者等へご確認の上ご検討ください。